

2018 年度 事業報告書

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

1. 事業の概要

東日本大震災から 8 年。復興庁によれば今なお避難者は全体で 52,000 人、福島県ではおよそ 33,000 人が放射能汚染のために故郷を離れた生活を強いられています。WE21 ジャパン・ほどがやは 2018 年度も引き続き「福島ぽかぽかプロジェクト」を支援し、さらにショップの電力も TOKYO 油電力に切り替えました。今後も原発に頼らない持続可能なエネルギー社会の構築に向けてアピールを続けたいと思います。また、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震の相次いだ災害に対しての緊急支援募金や初めての「フードドライブ」の取り組みにも多くの方のご協力をいただきました。そして資源を生かす「リメイク連続講座」や「けんぼう学習会」や「スマホの真実」など、世界で起こっている問題と自分たちの暮らしとのつながりを学ぶ講座も好評でした。

客数や寄付数の減少、メンバーの高齢化、ボランティアの拡大など様々な課題はありますが、誰でも何らかの形で平和で公正な社会づくりに参加できるチャリティショップとして、今後も地域での役割を広げていきたいと思っています。

2. 事業内容

I 資源のリユース・リサイクルを推進する事業(リユース・リサイクル事業)

1) WE ショップの運営

この数年、リユース事業の要である衣類の売り上げの低迷が続いています。安定した事業を目指し、魅力的なイベント企画など工夫を重ねましたが、両ショップともに年間売上目標の 700 万円には届きませんでした。一方、タウンニュースや新聞への情報掲載が新たなお客様の来店や寄付品提供にもつながりました。

【星川店】

売上: 6,537,461 円(年間達成率 93.3% 前年比 95.5% 1 日平均高: 28,545 円)

営業日数: 233 日(月平均 19 日) 顧客数: 7,135 人(前年比 95.4%) 寄付件数: 1,251 件(前年比 94.7% 新規 58 件前年比 123%) ショップボランティア延べ人数: 519 人(前年比 99.8%)

- ① スタッフ3人体制でショップ運営を行いました。今までのボランティアに加えて今年度新しくボランティア3名が入りボランティア15名になりました。毎月ショップ運営スタッフミーティングを開催し、年間企画実施に向けて活発に意見交換をしました。
- ② 3日間開催のイベント企画では、売上が減少する2日目の売上対策で新たに次の試みを実施しました。アクセサリーフェアの時はオリジナルリメイクアクセサリー講座を着物フェアでは簡単帯結びという短時間の講座を設けてフェアを大いに盛り上げました。
- ③ パイロットハウス星川の耐震工事をきっかけにバックヤードとレジ台、カウンターの移動することによって店内の雰囲気が一掃されました。お客様には好評を得ています。
- ④ 今年の着物フェアは去年に引き続き目標金額を上回りました。ほどがやのスタッフ、ボランティア、理事が一丸となった参加方法を実施しました。新聞社への無料掲載、タウンニュースの広告掲載、ショップ周辺のチラシ配りや広報戦略を強化し、DM など販売戦略、開催時期、レイアウトなどにチャレンジした事で売り上げ向上に繋がりました。

- ⑤リメイク作品を楽しみに来店する方も徐々に増えています。リメイクの衣類に関しては、ご要望があるものの作品制作が追いついていない状態。リメイクの作品作りと広報活動と共に今後の課題として、取り組みます。
- ⑥就労支援研修(2名)と職業体験(岩崎中学校 2名)を受け入れました。

【天王町店】

売上:6,853,936円(年間達成率 97,9% 前年比 103,4% 1日平均高: 28,896円)

営業日数:236日(月平均 20日) 顧客数:8,246人(前年比 98,8%) 寄付件数:1870件(前年比 95,7% 新規 63件前年比 77,3%) ショップボランティア延べ人数: 494人(前年比 108,5%)

- ①スタッフ3人体制でショップ運営を行いました。毎月スタッフミーティングを開催し、年間計画実施に向けて話し合っ運営をしました。
- ②ボランティアを増やすべく声かけをしましたが、諸事情により成果は出ませんでした。スタッフが1人になる時間帯には、理事会の協力を得て一人体制は減りました。ボランティアの増員は引き続き今後の課題とて残りました。
- ③フェアトレードフェアを年2回(5月、12月)開催しました。フェアトレード品を広めるとともに支援を身近に話すきっかけとなりました。12月の折、TPAK(認定NPO 法人地球市民 ACT かながわ)のフェアトレード雑貨の受託販売を行いました。
- ④時計の電池交換をし、6月から販売しました。(35個 45,700円の売上)
- ⑤中区寿地区センターに防寒服等を2箱送りました。
- ⑥シルクロード商店街主催のフリーマーケット(4月)に参加し、WEの活動をアピールしました。
- ⑦就労支援研修(2名)と職業体験(岩崎中学校 2名)を受け入れました。

【共通事項】

- ①ショップ間で月に1回、寄付品の循環を行いました。
- ②寄付品の基準を見直し、「寄付品のお願い」リーフレットを改訂しました。(7月)
- ③環境保護と資源の有効利用を進めるためにマイバッグ・エコバッグの持参を呼びかけ定着しました。(9月～)
- ④携帯電話の回収(めぐりケータイ)と廃食油の回収(WE 油田)を実施し、地域での資源循環を進めました。
- ⑤10月の「貧困なくそうキャンペーン」月間に初めてフードドライブを実施しました。お客様に協力を呼びかけ「フードバンクかながわ」と保土ヶ谷区社会福祉協議会にダンボール4箱を寄付しました。
- ⑥飲料水とヘルメットなど非常用の備蓄用品、防火設備の定期点検の実施と緊急連絡網の再点検、警備保障機器交換を行いました。
- ⑦WE21 ジャパンが登録した ACTIVO に応募したボランティア受け入れを行いました。(12月 2名)
- ⑧日本チャリティーショップネットワーク主催の「第2回チャリティーショップフォーラム」のチャリティーショップアワードに応募し、星川店の花器市の写真が「当日投票賞」と「審査員特別賞」のダブル受賞しました。(12月3日)
- ⑨横浜国大生の卒論作成(地域資源について)のためのショップ見学と活動ヒアリングに協力しました。(11月)
- ⑩ほどがやサンタプロジェクト(保土ヶ谷区役所、アワーズなど主催)の「サンタさんお助けスタンプラリー」の協力施設になりました。多くの人に WE ショップを知ってもらっきっかけになりました。(実施期間 11月20日～12月15日)

2018年度企画売上実績&月間売上実績

星川店	企画名	日程	企画売上実績 (目標)	月間売上実績 (目標)
4月	ジーンズ市	9日～13日		436,982円 (50万円)
5月	花器市	14日～16日	20,574円 (2万円)	549,129円 (55万円)
6月	お得意市	11日～13日	45,208円 (3万円)	556,151円 (55万円)
7月	七夕祭り	5日・6日	25,272円 (1万円)	386,013円 (47万円)
8月	残暑お見舞いセール	27日～31日	288,867円 (35万円)	490,771円 (60万円)
9月	手芸用品市 アクセサリーフェア	10日～12日	201,420円 (12万円)	566,028円 (60万円)
10月	貧困なくそうキャンペーン	17日	27,430円 (4万円)	544,245円 (55万円)
11月	漆器市	1日～7日	6,750円 (2万円)	476,287円 (50万円)
12月	歳末セール	3日～7日	367,756円 (35万円)	607,992円 (65万円)
1月	新春初売り	7日	102,163円 (11万円)	478,136円 (48万円)
2月	着物フェア	4日～6日	593,736円 (50万円)	877,844円 (90万円)
3月	17周年創業祭・年度末セール	4～6日, 28,29日	325,587円 30,228円 (28万円)	567,883円 (65万円)
	3.11を忘れない	11日		
6,537,461円				93.3%

天王町店

4月	春の感謝セール	26日～28日	330,708円 (35万円)	799,478円 (76万円)
5月	フェアトレードフェア	14日～19日	59,812円 (5万円)	545,430円 (55万円)
6月	アクセサリー市	14日～16日	23,004円 (5万円)	571,332円 (57万円)
7月	15周年創業祭	5日～7日	306,152円 (30万円)	649,404円 (70万円)
8月	ガラス食器市	2日～10日	3,850円 (1万円)	349,537円 (40万円)
9月	バッグ市	3日～8日	27,356円 (5万円)	369,541円 (45万円)
10月	貧困なくそうキャンペーン	16日	42,475円 (4万円)	652,961円 (58万円)
11月	秋・冬感謝セール	19日～24日	318,583円 (35万円)	721,946円 (78万円)
12月	フェアトレードフェア	3日～8日	55,966円 (5万円)	462,597円 (48万円)
1月	新春初売り	4日・5日	184,584円 (20万円)	532,785円 (55万円)
2月	春待ちわくわくセール	21日～23日	283,308円 (25万円)	594,250円 (65万円)
3月	3.11を忘れない	11日	23,478円 (4万円)	604,675円 (53万円)
6,853,936円				97.9%

2)地域における環境保全の推進

(1)リメイク活動

売り上げ 465,304 円 (年間目標額 55 万円) 年間達成率 84.6% 前年比 87.1%

- ①リユース・リサイクル部会を隔月の定例開催とし情報を共有しました。
- ②衣類のファイバーや着物を再度活用し寄付品の有効活用、ごみ量の削減に努力しました。
星川店バックヤードのリメイク材料の整理を行いました。
- ③「リメイク連続 WE 講座」を実施しました。
布ぞうり講座 6 月 21 日(9 人) 25 日(7 人) さきおり連続講座 9 月 11 日(3 人)、17 日(4 人)
小物づくり講座はテーマを定め年間を通して開催し、参加者に好評でした。
- ④WE フェスタ秋に参加し、リメイク活動のアピールの場としました。(11 月 8 日 産業貿易センター)
リメイク品出品点数 100 点 売上点数 41 点 39,150 円
- ⑤ほどがや街の学習応援隊の活動 PR 展に参加し、多彩なリメイク品を展示しました。(8 月 31 日～9 月 11 日 保土ヶ谷区役所区民ギャラリーの展示スペース)
- ⑥WE21 リメイク連絡会に参加し、他地域 NPO と情報を共有しました。

(2)資源の有効活用、再資源化

販売できなかった衣類は、WE21 グループ提携先のナカノ(株)で再利用され、同社が開発したエコ手袋(よみがえり)を販売しました。ガラス・陶磁器についても、飯室商店、木村管工(株)を通じてリサイクルを行いました。

(3)WE 油田の取り組み

WE21 ジャパングループで進めている使用済み食用油の回収の取り組みを継続しました。

回収量 星川店: 248 kg (CO₂削減量 645kg) 天王町店:290kg(CO₂削減量 754 kg)

(4)めぐりケータイ(携帯電話&小型電子機器類の回収)の取り組み

WE21 ジャパングループで進めている不要になった携帯電話・小型電子機器類の回収の取り組みに参加し 鉱物資源のリサイクルをすすめました。1 台につき 100 円がBGAの鉱山開発跡地の緑の回復事業に寄付されます。 回収台数 32 台

(5)自然エネルギー社会に向けての取り組み

両ショップの電力会社を、使用済み油で電力を起す「TOKYO 油電力」に切り替えました。(3 月末日～)

【日時】 通年

【場所】 WE ショップほどがや星川店・天王町店、その他保土ヶ谷区内

【従事者人数】理事・ショップスタッフ・リユース・リサイクル部会 15 人 リメイク・ぞうり・さきおりチーム 12 人

【受益対象者】主に保土ヶ谷区内の市民

【支出額】 13,094,779 円

Ⅱ アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業(民際協力事業)

支援先の人々と連携し、NPO や NGO 等により入手した情報を発信し、平和への関心を高めました。

1) 海外現地プロジェクト・国内において困難な状況にある人々への支援

主にアジア地域を対象として、草の根の市民の力を高めるためのプロジェクトの支援、また、国内において困難な状況にある人々への支援を行いました。

- ① 支援先の情報を入手して、申請書、活動報告書、会計報告書の評価点検をしました。
- ② 支援先及び助成額については、支援・平和チームで検討して理事会に提案し、討議決定しました。
- ③ 同じ支援先に助成している他地域 NPO と情報交換や学びの場をもちました。

*** 2018 年度 支援実行報告 ***

支援先	プロジェクト名	助成金	寄付金	募金
シュントック財団 (フィリピン共和国)	フィリピン・キブガン郡 ルボ村での鉱山開発跡地 の環境回復事業(BGA)	200,000 円		
健康とシェア財団 (HSF) (タイ王国)	タイ-ラオス国境地域におけ る HIV 予防啓発及びケア プロジェクト	152,700 円		
ポンロック・バイト ーン(緑の芽)有 機農園学校(カン ボジア王国)	「ポンロック・バイトーン(緑の 芽)有機農園学校」をカン ボジアの先導的な有機農 園学校に発展させる事業	300,000 円		
認定 NPO 法人 シェア(日本国)	活動全般		5,042 円	
認定 NPO 法人 AMDA (日本国)	西日本豪雨災害緊急支 援募金(7/9-8/31) 北海道胆振東部地震緊 急支援募金(9/8-9/30)			40,983 円 14,864 円
IYAMAN.INC (フィリピン共和 国)	フィリピン・ベンゲット州・ レインボーキャンペーン (子どもたちにクレヨンを送 るプロジェクト)			5,000 円
認定 NPO 法人日 本国際ボランティア アセンター (JVC) (日本国)	アフガニスタン教育支援プ ロジェクト			アジア・ともだち みらい貯金箱 6 個 37,425 円
認定 NPO 法人 FoE Japan (日本国)	福島ぽかぽかプロジェクト		毎月 11 日の売上 金の30%、3月 11 日の売上全額 197,874 円	店頭募金 34,455 円

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい(日本国)	生活や人間関係において貧困状況にある人への自立支援		星川店 10/17 天王町店 10/16 の売上全額 64,730 円	チャリボン 15,233 円 店頭募金 18,948 円
寿支援者交流会(日本国)	横浜・寿町や野宿生活者と地域社会を結ぶネットワーク		物品寄付 (男性衣類・日用品など)	
ドイツ国際平和村(ドイツ連邦共和国)	紛争地域の子どものための医療援助		物品寄付 (子ども衣類)	
公益社団法人フードバンクかながわ(日本国)	食の支援を必要としている人たちへ、非営利団体を通じて適切に食料を配るフードバンクシステム		食料品寄付 (ダンボール3箱)	
保土ヶ谷区社会福祉協議会(日本国)	食品寄付を募り、食を必要としている人に届けて生活を支えるフードドライブ		食料品寄付 (ダンボール1箱)	
	合計	652,700 円	267,646 円	166,908 円

支援金合計 1,087,245 円

2) 支援先メンバーの招聘事業、学び合う場の開催・協力

① 支援先の報告会などに参加し、情報の共有や学びの場としました。

カンボジア「ゆたかで幸福なコミュニティ 3S の構築」のヤン・セン・コマさんを招聘し、報告会、交流会を行いました。(12月2日 10時～13時 ほどがや地区センター 13名参加)

② ベンゲット・グリーン・アクション(フィリピンギブングン郡ルボ村の鉱山跡地の環境回復事業)のスタディツアーに参加しました。(1月26日～31日 2名参加)

3) フェアトレード

① フェアトレードに関する市民の関心を高めるために天王町店でフェアトレードフェアを2回開催しました。

・年間目標額を 35 万円 売り上げ 437,396 円(年間達成率 125 %)

・フェアトレードフェア実績: 5月 59,812 円(目標 5 万円) 12月 55,966 円(目標 5 万円)

・フェアトレード品: ジンジャーティ 取り組み本数 110本 販売本数 108 本

オリーブ石けん コーヒー 紅茶 チョコレート、オリーブオイル クラフト品(NPO 法人アクトかながわ)

② 来年度計画しているフェアトレードショップマップづくりに向けて、近隣地区のフェアトレードショップの調査を行い、報告資料を作成しました。(12月～3月)

この活動に対して「よこはま夢ファンド」の助成金交付が決定しました。(11月決定 助成金額 7 万円)

NPO 法人フェアトレード学生ネットワーク関東、フェアトレードショップリストと連携して進めました。

【調査先】: fe.a.coffee(フェア・コーヒー 保土ヶ谷区権太坂) フェアリーズ・フェイバリット東戸塚店、

ユーコープ東戸塚店、はちみつオフィス五タラント(中区)パタゴニア関内・横浜店、モリバコーヒー横浜山下町店、珈琲工場&百屋(旭区)

フェアトレード武蔵野主催のイベント「モノの価値ヒトの価値」に参加(2月17日)

逗子フェアトレードタウンの磯野さんのお話を伺う(3月2日) フェアトレードタウン逗子を訪問(3月13日)

フェアトレードタウンなごやのセミナー「若者から広がるフェアトレードの輪」に参加(3月17日)

生活クラブ生協へフェアトレードの取り組みについて聞き取り(3月18日)

【日時】 通年

【場所】 保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ 13 人

【受益対象者】 市民 支援先の住民

【支出額】 1,682,116 円

Ⅲ 地域市民の国際的な問題意識の向上を図る事業(共育事業)

世界で起きている問題について自分たちの暮らしとのつながりを学び行動する市民を増やすために、学習会や企画を開催しました。

1)WE 講座の開催

WE21ほどがやの活動である資源のリユース・リサイクル事業、国際支援事業や環境、平和を守る活動について理解を深める場として、地域市民に向けて WE 講座を4つの内容で7回開催しました。

①「福島ほかほかプロジェクト報告会」 5月20日(日)

福島の子どもたちと家族のための保養プログラムの運営メンバーである矢野恵理子さんに、福島原発事故から7年たった福島の現状とメディアには取り上げられない情報をお話していただきました。復興にはほど遠い現状を知り、原発事故による被害を風化させず伝えていかなばならないという思いをあらたにしました。

②「リメイク連続講座」 6月21日、25日 9月11日、17日

リメイクチームのメンバーを講師として寄付品を有効活用した布ぞうりとさきおりの連続講座を開催しました。参加者からは

③「けんぼう学習会」 11月29日(水)

横浜みなみ生活クラブ生協 保土ヶ谷/西 commons との共催で開催しました。神奈川新聞記者の田崎基さんを講師に迎え、現政権がめざす改憲の内容やその背景を知り、私たちは何をすべきかを考えました。そのときの参加者が、自分の団体で開催する動きにつながっています。

④「スマホの真実」 1月23日(水)

私たちの暮らしに身近なスマホや小型電子機器を作るために必要なレアメタルを採掘している現場では環境汚染や生態系の破壊、児童労働など様々な問題が起こっていることを知り、ワークショップでは問題解決するために大切なことは何か、1人1人考えました。講師は WE21 ジャパン民際担当の小池絢子さん。職業体験中の中学生4人も参加し、早速使わなくなった携帯電話をショップに持参し「めぐりけータイ」に協力してくれました。

開催日	内容	参加人数	開催場所
5月20日(日)	福島ぽかぽかプロジェクト報告会～福島は今 8年目の真実～ 報告者:矢野恵理子さん (認定 NPO 法人 FoEJapan)	25人	市民活動センター アワーズ
①6月21日(木) 25日(月) ②9月11日(金)17日 (月・祝)	リメイク講座 講師:リメイクチーム ①布ぞうり講座 ②さきおり連続講座	①9人 ②4人	市民活動センター アワーズ
11月29日(木)	けんぼう学習会 ～安倍改憲の表層と深層～ 講師:田崎基さん (神奈川新聞記者)	45人	保土ヶ谷公会堂 1号会議室
1月23日(水)	スマホの真実 ～紛争鉱物と環境破壊との つながり～ 講師:小池絢子さん (認定 NPO 法人 WE21 ジャ パン 民際担当)	21人 (岩崎中学校職業体験 生4人)	保土ヶ谷公会堂 2号会議室

2)環境、平和を考える企画・イベントの開催

①「貧困なくそうキャンペーン(10月2日～17日)

SDGs(国連が定めた持続可能な開発目標)の1つである「貧困をなくそう」をテーマにキャンペーンを実施し、貧困撲滅デーの売上全額を「認定 NPO 法人自立生活サポートセンターもやい」に寄付しました。

店頭募金、本の寄付(チャリボン)も行いました。(総額 97,568 円)

②「3.11を忘れない」

・復興支援活動を風化させないように、2018年度も引き続き、毎月11日の売上の30%、3月11日の売上全額を、福島原発事故で被災した子どもたちと親の保養プログラムを実施している認定 NPO 法人 FoEJapan「福島ぽかぽかプロジェクト」に寄付しました。年間を通して店頭募金も行いました。

(総額 232,329 円)

・東北支援品(気仙沼・ムラカミの海産物、きらら女川のかりんとう、百屋のカレーなど)を販売しました。

(10月 2月 3月 売上総額 95,268 円(税込))

・横浜南エリア11地域 NPO の共催で「中村敦夫氏朗読劇 線量計が鳴る」を上演しました。チケット代売上から経費を除いた収益金の2割にあたる49,109円を「3.11 甲状腺がん子ども基金」に寄付しました。(11月28日 スペースオルタ)

3) 寄付文化を広げる

国を超えて市民が協力するたすけあいの文化を広めるために「アジア・友だち・みらい貯金箱」を総会などで配布しました。WE21 ジャパン地域 NPO のなかで立ちあがった JVC アフガニスタン連絡会に参加し、情報を共有しました。貯金箱 6 個(37,425 円)を「JVC アフガニスタン教育支援プロジェクト」に寄付しました。(3 月)

4) キャンペーンへの賛同、提言活動への参加

社会的な課題解決のために、キャンペーンへの賛同、提言活動に取り組みました。

- ・「憲法を生かす全国統一署名」に参加しました。(33 筆 5 月)
- ・「どこへ向かう日本の教育～教育の変質、そして憲法改正」講演会(主催:WE21 ジャパン平和政策チーム 講師:寺脇研氏)の協賛団体となりました。(9/23 県民サポートセンター)
- ・フィリピンベンゲット州の 29 校 1500 人の小学生にクレヨンを届ける「レインボーキャンペーン」に賛同し、店頭募金を行いました。(12 月、星川店 2,970 円 天王町店 2,030 円 合計 5,000 円)

【日時】 通年

【場所】 主に横浜市保土ケ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ 13 人

【受益対象者】 市民、支援先の住民、会員、ボランティア

【支出額】 37,060 円

IV WE21 ほどがや事業の広報普及を図る事業(広報事業)

WE21 ジャパン・ほどがやの活動の理解を広めるために地域市民への情報の受発信の充実に努めました。

お客様、寄付者を増やすためにチャリティショップとしての存在価値を市民に伝えることが必要です。

1) ほどがやニュースの発行

- ・①61 号 7 月 ②62 号 11 月 ③63 号 3 月 各 1500 枚発行しました。
- ・広報チーム 5 人が中心となり、ニュース作成における紙面レイアウトから執筆、校正までスピーディに段取りよく行うように努めました。

2) チラシの作成

ショップの企画チラシは、企画の趣旨が伝わるように、ショップスタッフと広報担当が連携を密にして、より効果的なチラシを作成し、タイムリーに配布するように努めました。

- ・けんぼう学習会チラシを生活クラブ生協保土ケ谷/西 commons 組合員 1900 人に配布、ショップで 1300 枚配布しました。
- ・着物フェアチラシ 3000 枚を地域に配布しました。

3) 展示パネル・ポスター

貧困なくそうキャンペーンは支援チームで内容を検討してパネルを作成しました。

ショップの活動を知らせる効果的な A 看板の活用と、効果的なアピールコーナーを設置するのが課題です。

4) ホームページの更新

「ワーカーズ・コレクティブ ほっとリンク」と契約し、タイムリーな更新を心がけました。

5) 地域への情報

- ・タウンニュースへの掲載(2 月着物フェア 3 月東日本大震災記念日の取り組み)

・市民活動センターアワーズ

“OURS”情報誌への掲載(ボランティア募集、セール、講座情報など) 及び HP への掲載

6)その他

・寄付品の活用を広げるためにジモティ(地元の掲示板)に法人として登録しました。(12月)

【日時】 通年

【場所】 主に横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ・広報チーム 15人

【受益対象者】 市民

【支出額】 64,834 円

V 事業を实践するための組織活動

1)理事会

①理事会を定例開催して総会の議案に沿った運営や事業を行い、経営基盤を高めることを目指しました。

②ショップ運営やリメイク活動、支援先決定、WE 講座開催、広報事業とそれぞれのチーム・部会等の担当のもとに活動し、効率的な運営を目指しました。

③認定 NPO 法人の更新手続きを行い、更新が決定しました。

(認定の有効期間 2019年3月1日～2024年2月29日まで)

2)会員

①正会員拡大目標 : 個人(年間 2,000 円) 59人 (目標 70人)

団体(年間 10,000 円) 1団体

②賛助会員拡大目標: 個人(年間 500 円 一口以上) 21人 (目標30人)

団体(年間 3,000 円) 0 (目標 1 団体)

会員・賛助会員には、ほ도가やニュースと年次報告書、めぐりめぐる、イベントチラシなどを送付し、活動情報を伝えました。

3)ショップスタッフ・事務局スタッフとの雇用契約と人材育成

①ショップスタッフ・事務局スタッフと雇用契約を結びました。10月1日から神奈川県最低賃金改定に準じてスタッフの賃金を改定しました。

②スタッフと個別面談を行いました。(6月13日～18日)

③スタッフミーティングは毎月開催しました。合同スタッフミーティングは2月15日に開催し、2018年度の振り返りと経営分析、ショップの課題、対策などを話し合いました。

4)ボランティア参加

①新たなボランティアの拡大は進みませんでした。

②ボランティア研修会を実施しました。(3月20日 12名参加)

ガラスリサイクルの飯室商店 WE21 ジャパンの物流拠点であるエコものセンターを見学し、リユースリサイクルの現場への理解を深めました。また、WE ショップえびな店を訪問し、ショップ運営やレイアウトの方法などを学びました。ボランティア研修については、多くのボランティアが参加できる企画づくりが課題です。

5)研修会への参加

組織の充実のために各種研修会、説明会に参加し、情報を得ました

- ・よこはま夢ファンド登録団体助成金説明会に参加し、フェアトレードショップ調査、マップ作成活動についての助成金申請につなげました。(7月19日 2名)
- ・フードバンクかながわの倉庫(金沢区)に見学、実習に参加しました。(8月22日 2名)
- ・フードバンク学習会(共催 WE21 ジャパン・フードバンクかながわ)に参加しました。(8月24日 2名)
- ・ワーカーズコレクティブ協会主催の就労支援「協力事業者懇談会」に参加しました。(9月11日 1名)
- ・チャリティーショップフォーラム(日本チャリティーショップネットワーク主催)に参加しました。(12月2日 3名)
- ・WE21 消費税対応学習会に参加しました。(2月6日 2名)

6)WE21 ジャパン、他地域 NPO との連携

- ①WE21 ジャパンとは事業の受託、委託に関する基本契約を結び、他地域 NPO とも連携して WE21 ジャパングループとして運動を広めました。
- ②WE21 グループ会議、横浜南エリア代表連絡会、中央エリアスタッフ会議、WE21 リメイク連絡会に参加し、情報を共有し、WE21 グループ共通の課題解決に向けて話し合いました。
- ③「WE フェスタ秋」実行委員会に参加しました。WE フェスタ当日(11月8日 産業貿易センター)は、販売、リメイク、民際協力ブースのボランティアに 13 名参加しました。

7)地域のネットワーク

チャリティーショップとして認知度をあげるため、地域の団体・外部との連携を図りました。

- ①街の学習応援隊活動 PR 展にリメイク品を展示しました。(9月29日～10月12日)
- ②ほどがや生涯学習フォーラムまなぶん祭り参加団体として、活動紹介と古布を使ったロールネックレスづくりで体験ブースに参加し、25人が体験しました。(11月8日 市民活動センターアワーズ)
- ③生活クラブ運動グループ「保土ヶ谷・西まちづくり協議会」に参加し、相互の活動の共有を図りました。「けんぼう学習会」を生活クラブ保土ヶ谷/西 commons と共催で開催しました。
- ④ほどがや市民活動センターアワーズの協働運営会議に参加し、運営上の課題改善や実施する事業に参加し、他団体との交流をしました。
- ⑤保土ヶ谷区魅力ある地域まちづくり事業「ほどがや 人・まち・文化振興会」に参加しました。地産地消をテーマに実施している「朝市街道」の拠点として野菜販売をスタートしました。(星川店のみ)
- ⑥「ラポールミツ沢みんなの会」秋のボランティアに参加しました。
- ⑦中学生職業体験受け入れを行い、NPOの活動やチャリティーショップの役割などを伝えました。(1月23日～25日 岩崎中学校 4名)
- ⑧就労支援の受け入れを行いました。
- ⑨横浜市内在住 65 歳以上の方対象の割引制度「濱ともカード」、横浜市子育て家庭応援事業「ハマハグ」の協賛店を継続しました。

【日時】 通年

【場所】 主に横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事・ショップスタッフ 13 人

【受益対象者】 市民、会員、ボランティア

【支出額】 826,521 円